

# お子様を 有害情報から 守るために



## 保護者の理解と見守りがお子様を守ります。

インターネットは、パソコンや従来の携帯電話以外にも、スマートフォン、ゲーム機やテレビ等を通じて、世界中の様々な情報を、簡単な操作で手に入れることができます。

近年は、学校教育でも利用され、青少年にとって欠かせない道具となっています。

しかし、その一方で、暴力的な表現やアダルト画像など、青少年の健全な成長を著しく阻害する情報にも、触れる可能性があります。コミュニティサイトの利用などにより、事件・事故に巻き込まれることもあります。また、いたずらのつもりでも、安易に犯行予告などを行えば、犯罪の加害者側になることもあります。

このようなリスクを減らして、安全なインターネット利用を実現するため、「青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境の整備等に関する法律(青少年インターネット環境整備法)」が施行されています。

青少年がインターネットを上手に利用できるように、保護者がインターネットの特徴を理解し、青少年を見守ることが大切です。

リスクを減らして、  
上手にインターネットを利用しましょう。

### CHECK!



#### 青少年インターネット環境整備法

法6条(保護者の責務)において、保護者は、青少年のインターネット利用の状況を適切に把握するとともに、利用を適切に管理し、適切に活用する能力の習得の促進に努めることとされています。

### POINT!



#### 青少年のインターネット利用に関する5つのポイント

- ① どのような機器が必要か検討する
- ② 発達段階に応じて利用させる
- ③ 有害情報対策を設定する
- ④ 家庭のルールを作る
- ⑤ 小さなことでも気軽に相談する

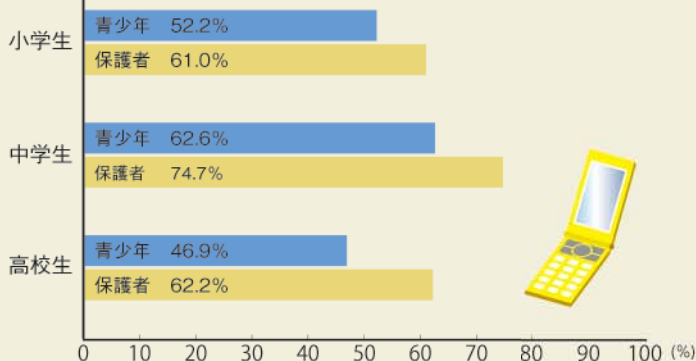
## お子様がどんな使い方をしているかご存知ですか？

利用していると思う項目をチェック!

- メールを使っている
- 検索機能を使っている
- ニュースを見ている
- 有名人のホームページを見ている
- 音楽や動画を視聴している
- ネット上で買物をしている
- 掲示板やブログで書き込んでいる
- SNSやゲームを使っている
- ネット上で知り合った友達がいる

### 青少年と保護者の間で認識の差があります

携帯電話を持っている青少年とその保護者に、携帯電話の使い方について家庭のルールを決めているか聞きました。「利用している」と答えた人の割合は、青少年と保護者で異なります。



資料：内閣府「平成24年 青少年のインターネット利用実態調査」

▶ お子様にご利用状況を聞いてみましょう。